

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みの上、正しく施工してください。  
 この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。  
 ■この施工説明書はKM55G-E仕様のイラストで説明しています。

**安全上のご注意**

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です  
 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

<p><b>漏水を逆に配管しないでください。</b> 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>	<p><b>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</b></p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>加工及び接合等の改造はしないでください。</b></p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p><b>警告</b></p> <p><b>スチームルーム及び乾燥室にご使用の際は相鉄ください。</b></p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p><b>給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。</b> また、湯割を加圧する場合も湯割圧力を水側より低くしてください。</p> <p>給湯圧力を給水圧力より高くすると、正常な温度調節ができなくなり、やけどをすることがあります。</p>	<p><b>給湯に蒸気を使用しないでください。</b></p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>
<p><b>ストレーナの清掃は止水弁又は元栓で必ず漏水を止めてから行ってください。</b></p> <p>ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>寒冷地仕様の場合</b> 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>配管などの解凍のため、解凍機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</b></p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

<p><b>注意</b></p> <p>他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用中に湯量が急上昇することがあります。</p> <p>やけどのおそれがありますので、やけどのおそれのないところまで水圧変動をおさえた配管設備にしてください。</p>	<p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶつたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをすることがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>
<p><b>凍結が予想される際は、一般仕様をお使いの場合、水栓本体や配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金属の水抜き操作を行ってください。</b></p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>		

**取り付け前に**

- ① 使用水圧〔A=(給湯機の最低作動水圧)+(配管圧力損失)〕
  - (1) 瞬間給湯機との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯機温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ ハンドル全開)
 

【比例制御式】 最低必要水圧: A+50.0kPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
  - (2) 貯湯式給湯機との組み合わせ
 

【給湯・給水圧力】 最低必要水圧: A+50.0kPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ③ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ④ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑤ 給湯機の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ⑥ 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑦ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないで、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑧ 本製品は改造(加工及び接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑨ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

**取り付け完成図と各部の名称 / 寸法図 / 分解図**

部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

**取り付け完成図と各部の名称**

**寸法図**

図例: PU1/2

**分解図**

1 キャップ	11 本体	21 ホール	31 ビス
2 ナット	12 湯側キャップ	22 ホール筒	32 吐水口
3 歯付座金	13 固定こま	23 パッキン	33 パッキン
4 座金	14 座金	24 パッキン	34 ストレーナ
5 止めナネ	15 三角パッキン	25 逆止弁	35 整流器キャップ
6 吐水量設定ハンドル	16 袋ナット	26 ストレーナ	36 ソケット
7 座金	17 ハンドル	27 ソケット	37 止水弁
8 ふた	18 ビス	28 止水弁	38 水抜き栓
9 定量カートリッジ	19 水側キャップ	29 送り座	
10 輪パッキン	20 キャップ	30 水抜き栓	

**寒冷地仕様**

## 取り付け手順

### 1 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミなどを取り除いてください。

### 2 ソケットと本体の取り付け

① ソケットのネジ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。

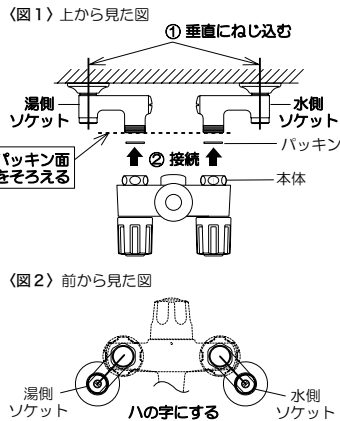
【お願い】

- ・図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにしないようにしてください。(シールテープの巻き数にて調節してください。)
- ・図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。

② ソケットと本体を接続します。

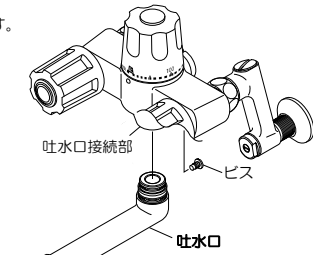
【△注意】

締め付けは、六角の二面幅に合わせて、モンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。



### 3 吐水口の接続

吐水口を吐水口接続部に接続し、ビスで固定します。



### 4 ステッカーの貼り付け

使用方法ステッカーを見易い位置に貼り付けてください。

5 ページ

## 取り付け後の点検と清掃1

### 通水確認

【△注意】水栓を取り付け後、通水して漏水の出し止めを5~6回繰り返す。配管接続部及び水栓から漏水がないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### ストレーナ清掃のお願い

#### ソケットのストレーナ清掃

ソケットのストレーナにゴミ等がつかりますと、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合があったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

【△警告】ストレーナの清掃は、止水弁又は元栓で必ず漏水を止めてから行ってください。ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。湯側ソケットの中には熱湯が溜まっている場合がありますので、操作の際はやけどをしないように注意してください。

- ① 湯水の止水弁 [2カ所] 又は元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② 湯側・水側のストレーナ [2個] を取りはずします。
- ③ ゴミ・水アカ等を洗い流します。

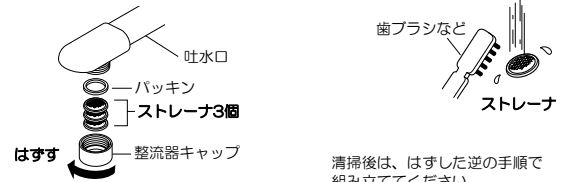
清掃後は上記の逆の手順で組み込んでください。ストレーナを締め込む時、吐水量設定ハンドルを吐水状態にしてください。



#### 吐水口のストレーナ清掃

吐水口のストレーナがつかりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

- ① 湯水全開で20~30秒吐水させます。
- ② 吐水口の整流器キャップをはずす方向にひねって、ストレーナを取りはずします。
- ③ ストレーナをブラシで水洗いします。



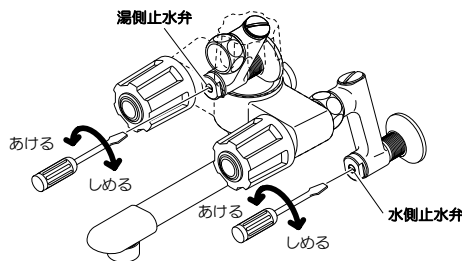
清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

6 ページ

## 取り付け後の点検と清掃2

### 流量の調節方法

流量の調節は右記の方法で行ってください。



図は一般地仕様です

### 故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ及び項目
湯水が止まらない	吐水量設定ハンドルは止水位置に合っていますか	吐水量設定ハンドルを止水位置に合わせる	取扱説明書 4 ページ 「吐水量設定ハンドルの使用方法」
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7 ページ 「流量の調節方法」
	ストレーナにゴミ等がつかまっていませんか	ストレーナを清掃する	6 ページ 「ストレーナ清掃のお願い」
	ガス給湯機と組合せてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか ストレーナは凍っていませんか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする ストレーナにぬるま湯をかける	—
高温しか出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7 ページ 「流量の調節方法」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7 ページ 「流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・動作を確認する	—
温度調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	7 ページ 「流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか ストレーナにゴミ等がつかまっていませんか	給湯機の設定温度・動作を確認する ストレーナを清掃する	— 6 ページ 「ストレーナ清掃のお願い」
吐水が飛び散る	ストレーナにゴミ等がつかまっていませんか	ストレーナを清掃する	6 ページ 「ストレーナ清掃のお願い」

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】 修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

7 ページ

8 ページ